

地域との対話の現状

平成25年10月16日

薩摩川内市

次世代エネルギービジョン及び行動計画の策定を受けて、更なる市民意識の向上を図るとともに、ビジョンや行動計画に基づく具体的事業の参考とするため、地区コミュニティ協議会や団体・機関等との意見交換を実施したところ、その概要は以下のとおり。

【ポイント】

1. 地区コミュニティ協議会においては、まちづくりの観点及び高齢者対策やコミュニティ活動などの地域の課題解決の参考になる意見等が出された。
2. 川内青年会議所においては、市民生活関連や産業活動関連など具体的事業を推進していく上で多数の有益な意見等が出された。
3. また、教育機関(高等学校)では、生徒の視点からの身近な困り事などの意見が出された。

1. 意見交換日程

(1) 地区コミュニティ協議会 (34件、32地区)

- ① 4月25日(木):平佐東地区(川内)
- ② 5月18日(土):大村地区(祁答院)
- ③ 6月 3日(月):吉川地区(川内)
- ④ 6月 9日(日):滄浪地区(川内)
- ⑤ 6月17日(月):可愛地区(川内) ※2回目
- ⑥ 7月25日(木):樋脇地区(樋脇)
- ⑦ 8月20日(火):川内地区(川内)
- ⑧ 8月30日(金):陽成地区(川内)
- ⑨ 9月21日(土):清色地区(入来)
- ⑩ 9月30日(月):大馬越地区(入来)

(2) 団体・機関等

- ① 4月 8日(月):川内青年会議所 ※2回目
- ② 7月 1日(月):川内青年会議所 ※3回目
- ③ 7月 9日(火):川内商工高校
- ④ 7月24日(水):川薩清修館高校
- ⑤ 10月15日(火):川内高校 ※2回目

2. 市民等からの主な意見等

(1) 地区コミュニティ協議会

① 具体的な取組等について

- (ア) 地域の資源を活用して、コミュニティの収益源となる方法を考えていきたい。
- (イ) 木クズを利用したバイオマス発電、温泉を活用したエネルギー開発などが報道されているが、それらも参考にして薩摩川内のオリジナルの内容と一緒に進めてほしい。
- (ウ) 甌島などは、具体的な事業が目に見える状況になってきたようであるが、他地域はまだ具体的に見えていない感がある。
- (エ) 街灯の話が出たが、今後、具体的整備を進めていく計画はあるのか。
- (オ) 川内駅から川内港までシャトルバス(電気バス)を走らせるということであるが、今後は路線バスにも電気バスを導入するのか。
- (カ) 来年の春には高速船が就航し、川内駅と川内港間にシャトルバスが1日4往復するとのことであるが、それだけ甌島に行く人がいるのか。また、採算も取れるのか。
- (キ) まちの活性化や高齢者対策、コミュニティを中心とした色々な行事ができるエネルギーやエコを中心とした複合施設的なものを検討してほしい。
- (ク) 保育園の電気代が高いためLED化に取り組みたいが、高額な経費がかかるので補助等はないのか。
- (ケ) この地区(大馬越)は何処を掘ってもお湯がでるので、農業などに活用できないのか。
- (コ) 風力発電はかなり高効率化されているので、甌島では有望ではないか。
- (サ) 超小型モビリティは、1人乗りより2人乗りのほうが需要があるのではないか。

② ビジョン・行動計画について

- (ア) スマートホン等を使っての見守りサービス等については、高齢者がICTをスムーズに理解して運用できると考えているのか。
- (イ) ビジョン中の重視する視点において、「本市固有の地域特性を十分に活かした薩摩川内市らしさという視点」は抽象的ではないか。また、「これまでにない技術開発や技術の導入、新しい産業の育成という視点」は具体性を帯びてくるが、具体的なものはあるのか。
- (ウ) ビジョン中に「産業活動」を掲げているが、企業誘致となった場合どういった企業をどこに持ってくるのか、大企業が撤退する中、なかなか難しいことではないか。
- (エ) 昭和30年代にある県で工場誘致を行うため工業専門学校をつくって成功した話があったが、ビジョンの未来像の大学のところにエネルギー高校や大学という話を入れたらどうか。

③ その他

- (ア) メインの道路に街灯を設置してもらい、地域が非常に明るくなったが、自治会で管理している街灯については、電気代が負担になっている。

- (イ) 地域でバイオマスに関われば、雇用につながっていくだろうが、地区として市の事業とどのように関わっていくことができるのか考えたい。
- (ウ) 市内でこういう事業(太陽光・風力・バイオマス・小水力)を行うと、九州電力全体の発電量の何パーセントくらいを賄えるのか。
- (エ) 次世代エネルギーは環境に良いが、多額の投資をすることになり、それを取り戻すのに長期間かかり、相殺するとゼロになるのではないか。
- (オ) エネルギー関係の施設が川内地域に集中的に設置されているように感じるが、全体的に散らして設置することはできないのか。
- (カ) バイオマス発電は、世帯換算にすれば太陽光に比べてかなり大きいと思うが、火力発電と違う点はどこか。
- (キ) 事業を実現するためには、将来的な財源を考えると、どうしても民活を採用していかなければならないと感じるが、民間の協力体制はあるのか。
- (ク) メリットだけでなく、デメリットも含めて検討した上で事業実施しないと、適切な運営ができなくなるのではないか。
- (ケ) バイオマス発電については、間伐材等の供給に期待し少しでも高く買ってほしいが、山が荒れることのないよう事業者への指導をお願いしたい。
- (コ) 太陽光+LEDの街路灯を設置し補助もあったが、手出しが多いのが現状である。

(2) 川内青年会議所

① 具体的な取組等について

- (ア) コージェネやHEMSは積極的に進めるべきであり、地区コミ単位でコージェネの取り組みができると良い。
- (イ) 補助金に関して、住宅用太陽光パネルやEV車、燃料電池などは簡単に手が出せるようなものではないので、LEDなどもう少し市民に身近なものへの補助があってもよいのではないか。
- (ウ) 普及啓発の一環として、それぞれのエネルギーの特性を性格にした「ゆるキャラ」をつくってはどうか。また、子供向けは標語やポスター、高齢者向けであれば、川柳など募集しても面白いのではないか。
- (エ) スマートメーター等は国内外で規格が様々であるが、20年後、30年後も利用できるような機器を導入してほしい。
- (オ) スマートハウスは、宿泊体験(例:TV企画の1ヵ月1万円生活等)ができれば、面白いのではないか。
- (カ) 既存住宅の「スマート化」に対しての補助制度は考えられないか。
- (キ) 今後、建築する市営住宅をスマートハウスにすれば、居住者が体感できる。
- (ク) 映像等を製作し、駅のモニターや市役所内で流したり、ホームページで受け手が必要な部分だけの説明が聞けたりするような工夫が必要ではないか。

- (ケ) 既存のイベントと一緒にエネルギーに関するものができれば、市民の関心は高まるのではないかと。
- (コ) 発電はベストミックスが一番と考えるが、市内に様々な発電設備が今後もできるので、エネルギーツアーのような企画を是非やってほしい。
- (サ) メガソーラー事業は莫大な資金がかかるので、市が後ろ盾となって出資を募る等の仕組みがあっても良いのではないかと。そういう仕組みがあれば、自分も出資したい。
- (シ) 市が民間事業者に事業のアイデアを公募し、コンペを行い、事業を実施させるような方法は考えられないかと。

② ビジョン・行動計画について

- (ア) ビジョン中の「未来像」の絵の中に大学や企業について触れているが、具体的な話はあるのか。
- (イ) 市民生活に関する行動計画は、地区コミとの関わりが強いようであるが、具体的な動きはあるのか。
- (ウ) スマートグリッドは、具体的な取り組みの中でも特に重要と考えるが、どのように進めていくのか。
- (エ) スマートハウスの事業費は高額であるので、建築費等のコストを考えると一般市民は身近に考えにくいのではないかと。

③ その他

- (ア) エネルギーを考える上で重要なのは、(まちづくりという観点よりも)エネルギーの供給やリスクをいかに減らすかということではないかと。
- (イ) 今年度予定されている事業は地味な印象であり、全国ニュースで取り上げられるような華々しさには欠けている。
- (ウ) 次世代エネルギーの数値目標のようなものは見えないが、原発の代替となるくらいの可能性がなければ予算をかける意味がないのではないかと。
- (エ) 原発とは切り離して考えるということだが、原発について様々なイデオロギーをまとめるのが行政の仕事ではないかと。
- (オ) 全量買取制度は、最終的には市民の電気料金に跳ね返ってくる仕組みであるが、市民に説明し理解を得た上で、次世代エネの導入促進を図っているのか。

(3) 教育機関（川内商工高校、川薩清修館高校、川内高校）

① 具体的な取組等について

- (ア) 総合運動公園の屋根付き駐車場に太陽光発電を設置するのはいいと思う。
- (イ) 川内駅のバス停の上に太陽光発電が設置できないかと。
- (ウ) 太陽光由来の電気を川内駅前のイルミネーションに使ったらどうか。

(エ) 中学校には太陽光パネルがあったが、小学校等にも太陽光パネルを設置したら子供たちの目にもとまる。

(オ) 川内駅は人が多いので、振動発電があったら良い。

(カ) CO₂をエネルギーに変換できれば、温暖化の問題も解決できる。

② その他

(ア) エネルギー施設の観光ルート化に関して、正直に言えば積極的にこういう施設を見たいといったものはない。ただ、見てみればおもしろいと思う。

(イ) バイク通学時に、夜は暗くて怖いので街灯が欲しい。暗くて事故をして怪我をした。EV車は音がしないので怖い。

(ウ) 就職について、男子はショッピングモールやコンビニ等、女子は司書、産後復帰できる職場、生活しやすい街であればよい。

(エ) 市内に、映画館、図書館、ツタヤ、スポーツが自由にできる場所があればよい。

以上